

Asflora 便り 2018年10月17日 近況報告（植樹地、環境教育、SAFTA セミナー、アバエテツバ湿地帯）

Asflora（アマゾンニア森林友の協会）の近況写真を掲載します。

2018年度植樹地：

ベレン市モスケイロ区で、本年3月27日にファゼンダ・エスペランサという、カトリック教会の薬物中毒者回復施設で、三菱商事とNPO『地球村』支援の植樹祭を行いました。大変なのは、植樹後の下刈り作業です。アマゾン流域で最も雨の多い地域で、雑草キクユの繁茂が旺盛で手こずりました。



↑2回目の下刈り作業を8月18日に終わりました。



↑前の下刈りが終わって、2ヵ月。乾季でも草はよく伸びます。3回目の下刈り作業中、もう数日で終わる予定。10月16日撮影。



~~~~~、~~~~~

### 環境教育活動：

ネビーデス市の Asflora の本拠地、ベレン市内ウチンガ環境公園、アナニンデウア市環境公園での、Asflora 森の劇を主とした環境教育活動を、各校児童たちを主に実施中です。



↑ 10月5日 ベネビーデス市 Asflora 本拠地 (Aimex) で、地元幼稚園の児童と父兄、教職員への環境教育活動。



↑ 10月4日アナニンデウア市のアントニオ・ダヌービオ環境公園で Asflora 森の劇を披露。



↑ 10月12日ベレン市ウチンガ環境公園での環境教育活動、ベネビーデスの小学生たちと。



↑ 10月17日ベネビーデス市 Asflora 本拠地 (AIMEX) での地元の小学生たちが森の劇に参加。



## アバエテツバ市での活動

アバエテツバ市の町から船で1、2時間の距離にある主に湿地帯にある集落（コミュニティ）で5年前の2013年から、Asfloraでは農工大の山田祐彰教授、NPO「地球と緑の環境基金」、地球環境日本基金、緑の募金等のご支援を得て、同地の人たちの求めるアグロフォレストリーの導入、養魚、子弟への環境教育などの協力活動を行っています。



↑8月22、23日のトメアスー第九回アグロフォレストリーセミナーへ、Asfloraから4名が参加しました。アバエテツバからも継続して住民代表を参加させています。



↑独立記念日9月7日。アバエテツバ市プロジェクト地のサンジョアン・デ・バッチスタ学校の行進に、Asfloraが参加しています。



↑8月、9月とプロジェクト地をAsfloraの担当者が巡回してきました。

*Instituto Amigos da Floresta Amazônica-ASFLORA  
Takushi Sato-Presidente*